特集に寄せて

岩瀬 暢男*

Intention to the Special Edition

Nobuo IWASE*

*株式会社東芝研究開発センター材料・デバイス研究所 (〒210-8582 神奈川県川崎市幸区小向東芝町1)

*Materials and Devices Research Laboratories, Research and Development Center, Toshiba Corporation(1 Komukai Toshiba-cho, Saiwai-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa 210-8582)

電子システムあるいは電子機器の実装には、この技術でしか実現不可能といった圧倒的優位技術というものが存在しない場合が多々あります。対象としている機器を実現するための大きな実装技術のくくりはもちろん存在しますが、細部技術には常に代替可能な技術が多数存在する例が多いためと思われます。新製品の開発には、過去の製品の実装技術継承や製造インフラ等によって適用技術を決める方法が考えられますが、新電子システム、新電子機器のコンセプト実現のための技術選択は、一般により難しくなっていると思われれます。

このような技術状況下でさらに魅力あるシステム機器を作り出すためには、実装に関する設計思想がよりどころとなります。実装設計思想はシステム機器のコンセプトを実現する機器全体の設計思想と一体となり、特にハード面でシステム機器コンセプトを実現する重要な要素であるからです。

以上の背景から「最先端システム実装の設計思想」と題した本特集を組み、部品レベルからシステムに至るまでの広い範囲での具体製品について、各々の実装設計思想と現状について5人の方に実際の様子を述べていただきました。部品、システムの研究者、技術者の方々はもちろん、材料技術・研究に取り組んでおられる会員諸氏にもお役に立てますことを期待しています。